

ピエゾグラフによる

いわさきちひろの子ども情景

2016年10月7日(金) - 11月7日(月) 9:00-22:00

入場無料 / 会場: 裏磐梯高原ホテル



「ロンドン橋がおちる」1966年
©ちひろ美術館



URABANDAI KOGEN-HOTEL

GALLERY A⁴

ピエゾグラフによる いわさきちひろの子ども情景

いわさきちひろは、生涯子どもの心を見つめ、描きつづけました。「私には、どんなにどろだらけの子どもでも、ボロをまとっている子どもでも、夢をもった美しい子どもに、みえてしまうのです」と語っています。ちひろの子どもへの優しい眼差しには家族の大切さ、自然への敬愛、そして平和への願いが込められています。はないちもんめ、ままごと、ロンドン橋がおちる…ちひろが描いた子どもたちの情景のなかに心をあそばせながら、ちひろ美術館からやってきたいわさきちひろの作品を裏磐梯の豊かな自然の中でお楽しみいただければと思います。



スキーをする少年 1969年

©ちひろ美術館



はないちもんめ 1958年

©ちひろ美術館



大きな時計をつくる子どもたち 1956年

©ちひろ美術館

いわさきちひろ 1918～1974

いわさきちひろは、子どもを生涯のテーマとして描き続けた画家でした。モデルなしで10ヵ月と1歳のあかちゃんを描き分け、その観察力とデッサン力を駆使して9,400点を超える作品のなかに子どものあらゆる姿を描き出しています。ちひろの作品は、母親として子育てをしながら、子どものスケッチを積み重ねるなかで生まれました。

青春時代に戦争を体験したちひろは、「世界中のこども みんなに 平和としあわせを」ということばを残しています。ちひろが描いた子どもや花は、今もいのちの輝き、平和の大切さを語り続けています。

ピエゾグラフとは

極めて高度な再現能力を持つエプソンのピエゾグラフ技法を用い、現在の原画の状態を再現するとともに、将来にわたって原画のデータを保存するデジタルアーカイブの試みです。

◆ちひろの絵とおはなし



日時 : 11月6日(日)
時間 : 13:00～13:30
申し込み : 不要
参加費 : 無料
対象 : 園児から大人
いわさきちひろってどんな人? 絵の特徴は? ちひろ美術館の学芸員がわかりやすくお話し、絵本の読み聞かせもします。ゆっくりとちひろの絵本の世界をお楽しみください。

◆水彩技法のカードをつくって 手紙をだそう



日時 : 11月6日(日)
時間 : 13:30～14:50
申し込み : ホテルへお電話ください
TEL 0241-32-2211
参加費 : 無料 定員 : 20名
対象 : 小学生以上
ちひろの絵の特徴である、にじみを生かして、グリーティングカードを作ります。封筒とちひろの絵の切手もご用意します。